



【プレス・リリース】

ドイツ銀行、ルーマニア国鉄に対して総額 1 億ドル相当円のシンジケートローンを組成

【2001年3月29日、東京】 ドイツ銀行東京支店は、この度、ルーマニア国鉄に対する総額 1 億ドル相当円にのぼるシンジケートローンの調印を行った旨を発表しました。当該シンジケートローンの期間は 10 年。ドイツ銀行が単独主幹事を務め、ドイツ銀行東京支店と三和銀行が各々、8 千万ドル相当円、2 千万ドル相当円の協調融資を実施します。

この度のシンジケートローンは、国際協力銀行（JBIC）がルーマニア政府向けに保証を供与した初の案件となります。これにより、国際協力銀行は総額 1 億ドル相当円にのぼるルーマニア国鉄の近代化プロジェクトに対して最大 95% の保証を行うこととなります。

ドイツ銀行のマネージング・ディレクター兼ストラクチャード・エクスポート・ファイナンス部アジア地域統括責任者であるプラディーブ・マトゥールは、「ドイツ銀行は、過去数年間にわたりルーマニア政府が推進する医療・公営住宅プロジェクトを支援してきました。この度、国際協力銀行と協力することで、新たにルーマニア国鉄の近代化プロジェクトを支援することができ、大変光栄に思います。今後も国際協力銀行と協力することで、多様なプロジェクトを支援していきたいと考えています。この意味で、今回の案件は、ドイツ銀行が東京市場におけるビジネスを拡大するうえで意義深い案件だと言えるでしょう」と述べています。

今回の資金用途は、老朽化したディーゼル機関車の更新と新規設備の導入に充当されます。これにより、ディーゼル機関車の経済的耐用年数は約 20 年間延長すると見込まれています。本案件の調印は、2001 年 3 月 28 日に首都ブカレストで行われました。

#####

ドイツ銀行グループは、日本において約 1,250 名の従業員を擁し、ドイツ証券会社東京支店、ドイツ銀行在日支店、投資顧問子会社等を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、投資顧問などの広範なサービスを提供しています。また、資産規模において世界最大の銀行で、ユーロ圏で主導的な地位を占めています。同グループはユーロマネー誌より 2 年連続で資金調達における総合力第 1 位に選ばれており、同誌の 2001 年 1 月の「Poll of Polls」でも総合力第 1 位と高い評価を得ています。

<本件に関するお問い合わせ先>

広報担当

電話：(03) 5156-7704